



月潟中学校 学校だより

翔舞

第二号

令和4年4月25日
発行
新潟市立月潟中学校

新潟市南区月潟740

修学旅行終わる!

日程	行程の概略	宿泊先
4月12日(火)	学校ーみちのく伊達政宗歴史館…五大堂…松島観光物産館(昼食) ーシーカヤック体験(奥松島月浜)ーホテル	蔵王温泉 ルーセントタカミヤ
4月13日(水)	ホテル…ロープウェイ…スキー研修(蔵王温泉スキー場) 途中(昼食)…ロープウェイ…ホテル	蔵王温泉 ルーセントタカミヤ
4月14日(木)	ホテルー上杉神社・松岬神社・上杉博物館ー金剛閣(昼食) ー加茂水族館ー学校	



今年度はコロナウイルス感染症対策のため、修学旅行の方面を関西から東北に変更して実施しました。感染防止のため、マスク着用、手指消毒だけでなく、全行程バス移動、食事会場や入浴場の貸切、屋外での体験活動、見学場所や売店での他団体との交流防止など、考えられる最善の対策を尽くして実施

しました。幸い、感染者も体調不良者も出すことなく修学旅行を終えることができました。

オミクロン株の流行時期と修学旅行の最終プランニングの時期が重なり、保護者の皆様には多大なご不安、ご迷惑をおかけしました。校内でも、様々な場合をシミュレーションしながら、実施を決定致しました。保護者の皆様には実施について、ご同意いただき感謝します。

修学旅行のねらいは、歴史や文化を学ぶこと、日常では経験できない体験をすること、仲間と協力することの大切さを知ること、そして、素晴らしい思い出をつくることです。しかし、今回の修学旅行では、それだけでなく、「感染を防止するには、どう行動すればよいか」を考えることも大きなねらいとなりました。3年生一人一人がこのねらいも自覚し、自律的に行動し、素晴らしい思い出に残る旅行を創り上げてくれました。

今回の旅行は、3年生一人一人を成長させてくれました。そして、学級全体の団結力も高めることができました。きっと、これからの学校生活で、修学旅行の経験が生きてくるものと思います。これからの3年生の躍進が楽しみです。裏面で、生徒の感想を紹介します。

T

今回の旅行は、とても思い出に残るものになりました。それは、修学旅行が学びを深めるだけでなく、助け合うことで絆を深める行事でもあるからです。

修学旅行に行く前は、みんなと楽しめれば、それでいいと思っていました。しかし、実行委員長になったので、委員長としての自覚をもって、自分だけでなく、みんなが楽しめるように、また、協力できるようにしたいという意気込みで当日を迎えました。

みんなが、協力してくれたおかげで、いろいろな場所での見学や体験で、有意義なものになりました。みんなと楽しめたので、とてもよかったです。

Y

私は、修学旅行の副実行委員長を務めました。最初、大阪プランの計画を立てていました。しかし、コロナのために、大阪に行く計画がなくなりました。とても、残念でした。気持ちを切り替え、東北方面への旅行を楽しもうと思いました。

1日目の松島でシーカヤック、ホテルでの女子だけのお菓子パーティー、2日目のスキー、3日目の水族館館長さんのお話やクラゲの見学、係が準備してくれたバス内のレクなど、どれもが楽しく、とてもいい思い出になりました。

K

僕は、シーカヤックをしたこととスキーをしたことが、とても楽しい思い出になりました。

シーカヤックでは、横転して海に投げ出される人や岩の上に座礁する人もいました。僕たちは、なんとか無事に目的地に上陸することができ、よかったと思います。スキーでは、短い時間でしたが、始めるまえからみるとかなり上達したと自分では思います。もっと、滑っていたいと思いました。修学旅行でシーカヤックやスキーをしたことは一生忘れないと思います。

